

心理学部心理学科カリキュラム〈卒業に必要な単位数：124単位以上〉

(変更される場合があります)

〈総合教育科目〉

※「履修方法」欄のRは印刷授業科目、Sは面接授業科目、SRは印刷授業と面接授業の両方が必要な科目。

科目区分	卒業要件	科目名	単位数	登録年次	履修方法	準講義多インジキ数	資格・免許取得に必要な科目				
							公認心理師	認定心理士	社会福祉士	精神保健福祉士	
基礎教育科目	4科目8単位必修	基礎演習Ⅰ	1	1	SR	2					
		基礎演習Ⅱ	1	2	SR	2					
		心理学入門	2	1	SR	2		◎			
		情報処理演習Ⅰ	4	1	SR	2					
健康教育科目	2科目4単位必修	レクリエーション理論	2	1	S	4					
		レクリエーションワーク	2	1	S	4					
	選択科目	健康・スポーツ	2	1	S	4					
コミュニケーション教育科目	2科目4単位以上修得	アメリカの文化と言語Ⅰ	2	1	SR	2					
		アメリカの文化と言語Ⅱ	2	2	SR	2					
		中国の文化と言語Ⅰ	2	1	SR	2					
		中国の文化と言語Ⅱ	2	2	SR	2					
		韓国の文化と言語Ⅰ	2	1	SR	2					
		韓国の文化と言語Ⅱ	2	2	SR	2					
		情報処理演習Ⅱ	4	2	SR	2					
		情報処理演習Ⅲ	4	2	SR	2					
		外国籍者のみ登録可	日本の文化と言語Ⅰ	2	1	SR	2				
			日本の文化と言語Ⅱ	2	2	SR	2				
教養教育科目	5科目10単位必修	心理学概論	2	1	SR	2	◎	◎	◎	◎	
		文章表現	2	1	SR	2					
		統計学	2	1	R	—					
		教養基礎演習Ⅰ	2	1	R	—					
		教養基礎演習Ⅱ	2	2	R	—					
		12単位以上修得	文章表現Ⅱ	4	2	R	—				
			文章表現Ⅲ	4	3	R	—				
			法学概論	2	1	SR	2				
			法学(憲法)	2	1	SR	2				
			法学Ⅱ(民法・行政法)	4	2	R	—				
	人体の構造と機能及び疾病		2	1	R	—	◎		◎	◎	
	社会学概論		2	2	SR	2			◎	◎	
	政治学(国際政治を含む)		2	1	R	—					
	経済学(国際経済を含む)		2	1	R	—					
	国際関係論(国際法を含む)		2	3	R	—					
	哲学		2	1	R	—					
	倫理学		2	1	R	—					
	日本史		2	1	R	—					
	世界史		2	1	R	—					
	人文地理		2	1	R	—					
	生物学		2	1	R	—					
	生理学		4	2	R	—					
	音楽		2	1	SR	2					
	表現		2	1	S	4					
	福祉と教育		2	1	SR	2					
	生涯学習概論		4	2	SR	2					
	人権教育		2	1	R	—					
	福祉倫理		2	1	R	—					
	ボランティア論		2	1	SR	2					
	ジェンダー論		2	1	R	—					
	死生学		2	1	R	—					
	少年と犯罪		2	1	SR	2					
	国際社会と日本		2	1	R	—					
	会計学入門		2	1	R	—					
	経営学入門		2	1	R	—					
	生活の中の福祉	2	1	R	—						
	アジア文化論	2	3	R	—						
	多文化理解入門	2	1	R	—						
	比較社会史	2	3	R	—						
	社会福祉入門	2	1	SR	2						
ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	1	SR	2			◎	◎			
ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	2	SR	2			◎				
キャリア開発教育科目		キャリア開発演習Ⅰ	2	2	R	—					
		キャリア開発演習Ⅱ	2	3	R	—					

※履修方法、登録年次や開講科目は変更される場合があります。

※各科目とも登録年次以降に履修が可能になります。

※「資格・免許取得に必要な科目」欄の「◎」は該当の資格取得に必要な必修科目、「○」は選択科目。

※取得希望資格が多い場合、規定年数で修了できないことがあります。

出願にあたって

正科生募集

特修生募集

科目等履修生募集

学修方法について

カリキュラム

実務経験による実習免除

書類の記入について

(変更される場合があります)

〈専門教育科目（心理学部心理学科）〉

※「履修方法」欄のRは印刷授業科目、Sは面接授業科目、SRは印刷授業と面接授業の両方が必要な科目、Pは実習科目、Gは卒業研究。

科目区分	卒業要件	科目名	単位数	登録年次	履修方法	筆講 講義 実習 演習 合計 科目数	資格・免許取得に必要な科目			
							公認心理師	認定心理士	社会福祉士	精神保健福祉士
専門基幹科目	14科目44単位必修	心理学研究法	4	3	SR	2	◎	◎		
		心理的アセスメント	4	3	SR	2	◎	◎		
		心理学統計法	2	1	SR	2	◎	◎		
		心理学実験	4	2	SR	4	◎	◎		
		教育・学校心理学	4	3	SR	2	◎	◎		
		発達心理学	4	1	SR	2	◎	◎		
		臨床心理学概論	4	2	SR	2	◎	◎		
		心理学的支援法(基礎)	2	2	SR	2	◎	◎		
		心理学的支援法(演習)	2	3	SR	2	◎	◎		
		知覚・認知心理学	4	2	R	—	◎	◎		
		障害者・障害児心理学	2	3	SR	2	◎	◎		
		社会・集団・家族心理学(社会・集団)	4	2	SR	2	◎	◎		
		心理学を活かしたキャリアデザイン	2	1	R	—				
		心理学を活かしたキャリアマネジメント	2	2	R	—				
専門展開科目	42単位以上必修	学習・言語心理学	2	2	R	—	◎	○		
		神経・生理心理学	2	3	R	—	◎	○		
		感情・人格心理学	2	3	R	—	◎	○		
		健康・医療心理学	2	3	R	—	◎			
		心理学的支援法(心理療法)	2	3	R	—	◎	◎		
		司法・犯罪心理学	2	3	R	—	◎			
		社会・集団・家族心理学(家族)	2	3	R	—	◎	○		
		産業・組織心理学	2	3	R	—	◎			
		精神疾患とその治療	4	2	SR	2	◎			◎
		福祉心理学	2	3	R	—	◎			
		公認心理師の職責	2	3	R	—	◎			
		関係行政論	2	3	R	—	◎			
		心理演習	2	3	SR	2	◎			
		心理実習	2	4	P	—	◎			
		心理検査法演習	2	3	S	4				
		心理学研究演習Ⅰ	2	3	S	4				
		心理学研究演習Ⅱ	2	4	S	4				
		発達相談	2	3	R	—				
		教育相談(カウンセリングを含む)*	2	3	SR(R)	2(-)				
		薬理学概説(薬物乱用防止を含む)*	2	2	R	—				
		社会病理	2	3	R	—				
		労働法(労働基準法)*	2	2	R	—				
		社会政策	2	2	R	—				
		介護概論	2	2	SR	2				
		社会福祉原論	4	1	R	—			◎	◎
		保健医療	2	2	R	—			◎	
		ソーシャルワークの基盤と専門職	2	1	SR	2			◎	◎
		ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2	2	R	—			◎	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	4	2	SR	2			◎	◎
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	4	3	R	—			◎	
		社会調査法	2	3	R	—			◎	◎
		高齢者福祉論	2	1	R	—			◎	
		障害者福祉論	2	2	R	—			◎	◎
		児童・家庭福祉論	2	2	R	—			◎	
地域福祉論	4	2	R	—			◎	◎		
社会福祉運営管理論	2	4	R	—			◎			
社会保障論	4	2	R	—			◎	◎		
公的扶助論	2	2	R	—			◎			
権利擁護と成年後見	2	3	R	—			◎	◎		
更生保護	2	4	R	—			◎	◎		
ソーシャルワーク演習Ⅲ	2	2	SR	2			◎			
ソーシャルワーク演習Ⅳ	2	3	SR	2			◎			
ソーシャルワーク演習Ⅴ	2	4	SR	2			◎			
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	2	SR	2			◎			
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2	3	SR	2			◎			
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	2	3	SR	2			◎			
ソーシャルワーク実習	6	3	P	—			◎			
精神保健学	4	1	SR	2				◎		

出願にあたって

正科生募集

特修生募集

科目等履修生募集

学修方法について

カリキュラム

実務経験による実習免除

書類の記入について

(変更される場合があります)

〈専門教育科目（心理学部心理学科）〉

※「履修方法」欄のRは印刷授業科目、Sは面接授業科目、SRは印刷授業と面接授業の両方が必要な科目、Pは実習科目、Gは卒業研究。

科目区分	卒業要件	科目名	単位数	登録年次	履修方法	準備学習・スリープ員数	資格・免許取得に必要な科目			
							公認心理師	認定心理士	社会福祉士	精神保健福祉士
専門展開科目	42単位以上修得	精神保健福祉の原理*	4	2	SR	2				○
		ソーシャルワークの理論と方法(専門)*	4	3	SR	2				○
		精神保健福祉制度論*	2	2	SR	2				○
		精神障害リハビリテーション論*	2	2	SR	2				○
		精神保健福祉演習Ⅰ*	2	2	SR	2				○
		精神保健福祉演習Ⅱ*	2	3	SR	2				○
		精神保健福祉演習Ⅲ*	2	4	SR	2				○
		精神保健福祉実習指導Ⅰ	2	2	SR	2				○
		精神保健福祉実習指導Ⅱ	2	3	SR	2				○
		精神保健福祉実習指導Ⅲ	2	3	SR	2				○
		精神保健福祉実習	6	3	P	—				○
	卒業研究	4	4	G	—					

科目名の後の*は履修の際、1単位あたり5,500円の資格科目履修費がかかります。

※履修方法、登録年次や開講科目は変更される場合があります。

※各科目とも登録年次に降る履修が可能になります。

※「資格・免許取得に必要な科目」欄の「○」は該当の資格取得に必要な必修科目、「□」は選択科目。

※他学部・他学科開設の教職課程を履修して小学校一種、中高一種〔英語〕〔保健〕、高校一種〔情報〕〔公民〕〔福祉〕、養護一種、特別支援一種の教員免許を取得する場合は必要科目については「教職課程カリキュラム対応表」にてご確認ください(p.50~54、p.64~67)。

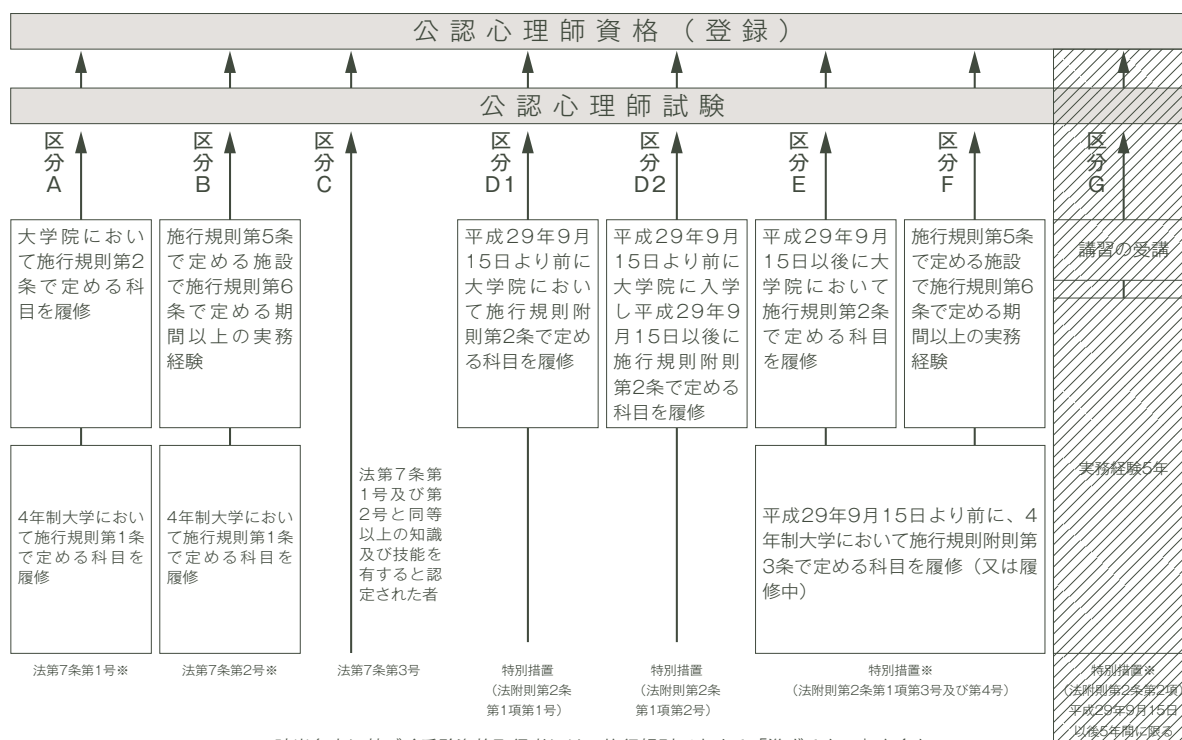
※他学部・他学科開設の教職課程を履修する場合、修得単位は心理学部の卒業単位に含まれます。なお、1単位あたり5,500円の資格科目履修費がかかる科目があります。

※取得希望資格が多い場合、規定年数で修了できないことがあります。

【参考】

公認心理師の資格取得方法について

(日本心理研修センター HP より)



※該当条文に基づく受験資格取得者には、施行規則で定める「準ずるもの」を含む。

※区分Gでの受験については、第5回公認心理師試験(令和4年7月17日)で終了しました。

公認心理師資格を取得するためには、上記のように複数の方法がありますが、2018年度以降に公認心理師の受験資格を取得する方法は、区分Aにありますように、4年制大学で公認心理師となるために必要な科目を修めて卒業し、その後、大学院で必要な科目を修めて修了することが一般的な取得方法となります。他にも、2017年度以前に心理系の4年制大学に入学、又は卒業された方や大学院に入学、又は修了された方は、区分Dから区分Fにかけて特例措置が適用される可能性がありますので、該当の方は、下記に掲載の厚生労働省、及び日本心理研修センターのホームページをご参照ください。

なお、区分Aにて公認心理師の受験資格を得るためには、大学では見学を中心とした80時間以上(事前事後指導を含む)の「心理実習」、大学院では心理支援の実践を中心とした450時間以上(事前事後指導を含む)の「心理実践実習」を行う必要があります。実習先については、保健医療分野での実施を必須とし、本学が指定する関東近辺(東京都、神奈川県等を中心)の医療機関、施設等に限定される予定であり、必ずしも、ご自身が希望する地域、時期において実施できるとは限らず、在籍を延長して実施する必要がある場合もありますのでご注意ください。
注)「心理演習」のスクーリングは、1クラス15名までと受講制限があり、受講条件を設け、年間で2回程度の開講となります。

*上記の表は「公認心理師試験 受験の手引き」より抜粋。

*参考ホームページ

厚生労働省 (<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116049.html>)

一般財団法人日本心理研修センター (<https://shinri-kenshu.jp/>)

出願にあたって

正科生募集

特修生募集

科目等履修生募集

学修方法について

カリキュラム

実務経験による実習免除

書類の記入について